

農薬の

安全・適正使用のために！

ACTIVE KUMIAI

一般社団法人山梨県農薬販売者協会三枝政理事長は7月27日、リバース和戸において全国農薬安全指導者協議会山梨県支部とともに、農薬・病害虫に関する研修会を開催した。参加者は当協会会員を中心に約30名が参加した。内容は、指導農薬の取扱について、新規農薬情報、山梨県の問題病害虫についての研修を行った。

まず、指導農薬の取扱について、丸和バイオケミカル㈱の宮内博久氏より指導農薬「ランネット」について、「シンジェンタジャパン㈱の前田綾氏より指導農薬「ブリゲロックス」について、それぞれこれらの安全使用についての説明が行われた。二氏は、メソミル、パラコート成分とする指導農薬の使用の際には、マスクやゴーグルを着用、保管・管理の徹底、適用外使用は絶対にしない等の適正な使用の指導を使用者に行ってほしいと述べた。

次に、「新規農薬情報」について、㈱アセラの島田英徳技術開発室長より、新規農薬についての紹介が行われた。島田氏は、ダニサラバフロアブルやフェニックス顆粒水和剤等、9種類の新規の農薬について登録作物や使用上の注意等についてわかりやすく解説を行った。

最後に、「山梨県の問題病害虫」について、㈱アセラの浅利寛技術顧問より、山梨県下の問題病害虫であるスモモヒメシクイ、カイガラムシ類、クビアカスカシバについて、発生原因や生息・防除方法等についての説明が行われた。浅利氏は、問



熱心に研修を受ける会員



山梨県の問題病害虫についての研修の様子

題病害虫はほとんどが果樹園等の園内に潜んでいるため、越冬期間内におけるこの発生源・伝染源の除去が重要であると述べた。研修会に訪れた参加者はみな熱心に聴講し、質疑応答等も活発に行われた。今後も当協会では研修会等を重ね、農薬の観点から農業の振興発展に寄与していく考えである。